

こどもの居場所づくり事業
アンケート報告書
(令和８年度夏休み期間実施分)

令和８年１０月
広陵町教育委員会事務局 こどもまんなか部 こども政策課

はじめに

本アンケートは、令和8年度の夏休み期間中に実施した「こどもの居場所づくり事業」において、5箇所を利用したこども・若者の声を集約し、ニーズや課題を把握することを目的としています。得られた結果は、今後の居場所づくりや運営方針の改善に役立てます。

Ⅰ. 調査概要

調査対象：特別養護老人ホームおきなのだ、奈良トヨペット広陵店、

イズミヤショッピングセンター広陵、エリシオン真美ヶ丘、さわやかホール

調査方法：紙面回答

調査時期：令和8年7月18日から令和8年8月31日まで

回答者数：95人

・回答者学年分布（人数表）

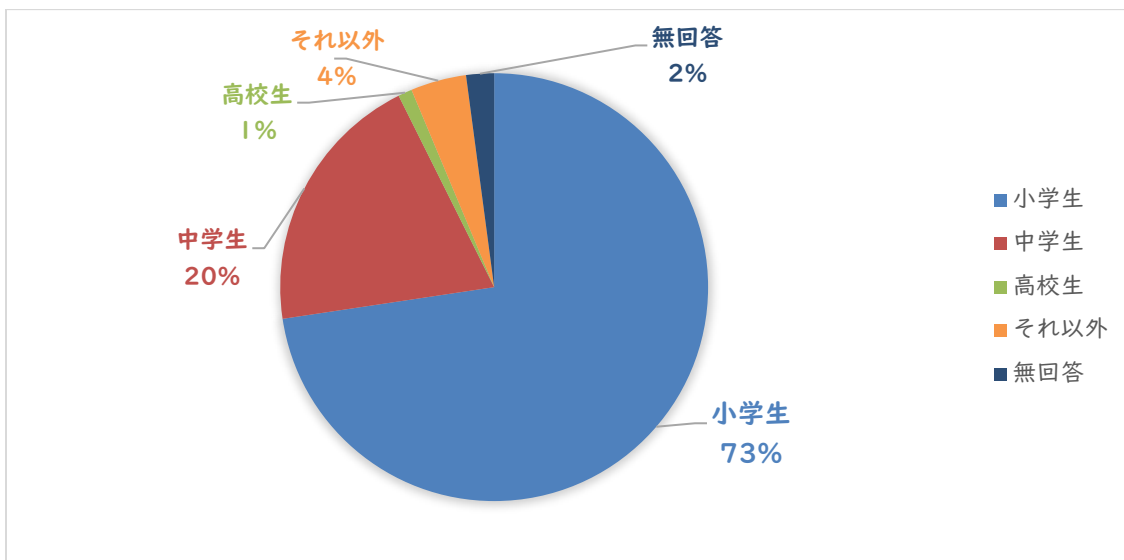
学年	人数
小学1年生	4
小学2年生	7
小学3年生	8
小学4年生	18
小学5年生	13
小学6年生	16
中学1年生	11
中学2年生	5
中学3年生	3
その他	7
無回答	3
合計	95

・アンケート回収数内訳

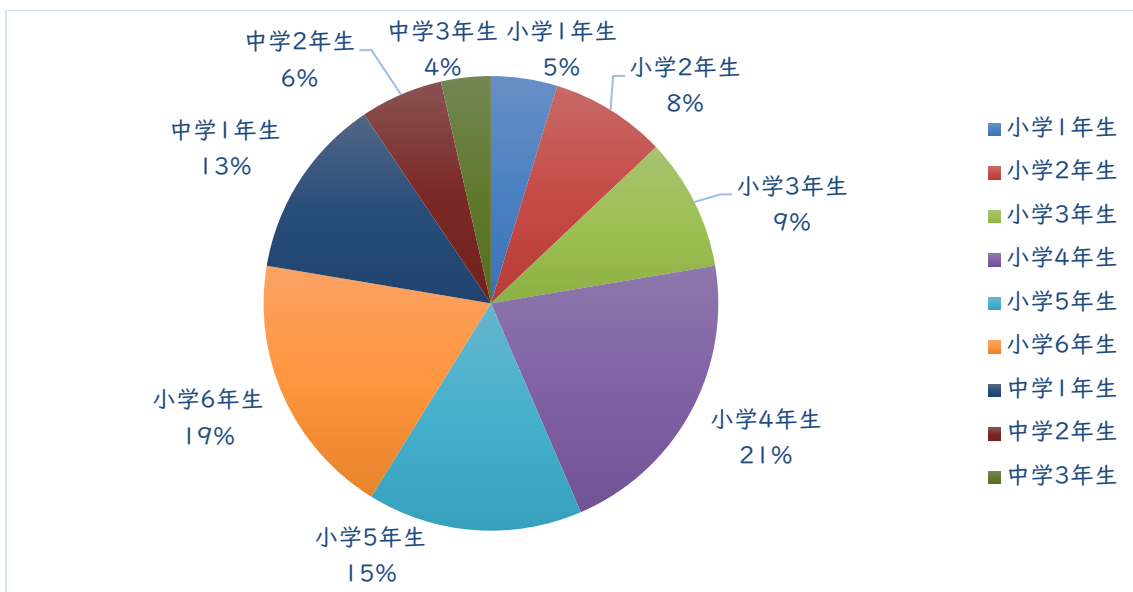
施設名	アンケート回収数
特別養護老人ホームおきなのだ	2
奈良トヨペット広陵店	32
イズミヤショッピングセンター	34
エリシオン真美ヶ丘	18
さわやかホール	9

2. 調査結果

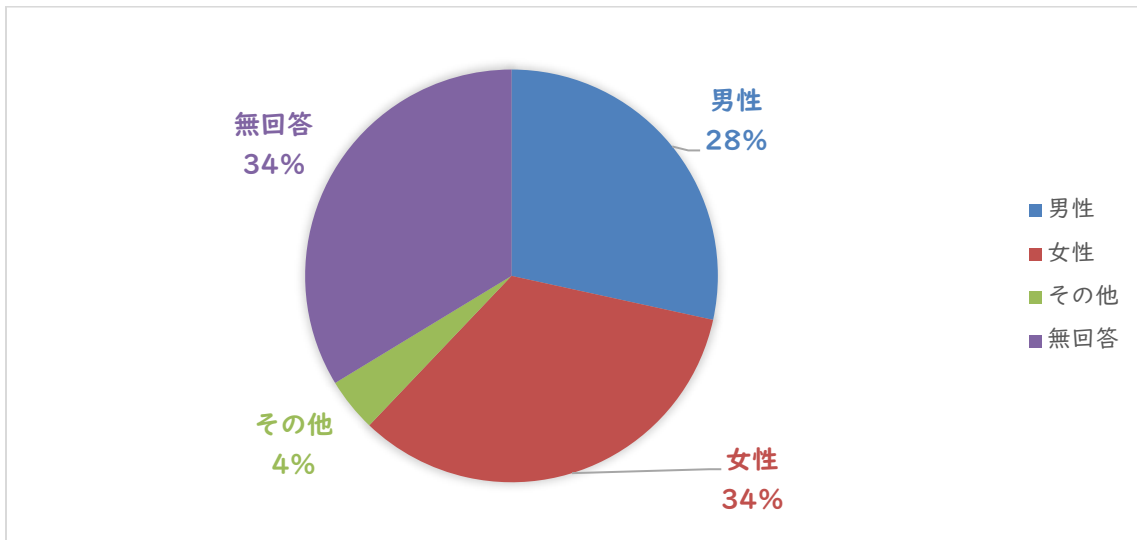
設問(1)-①：あなたのことを教えてください。（学年分布）



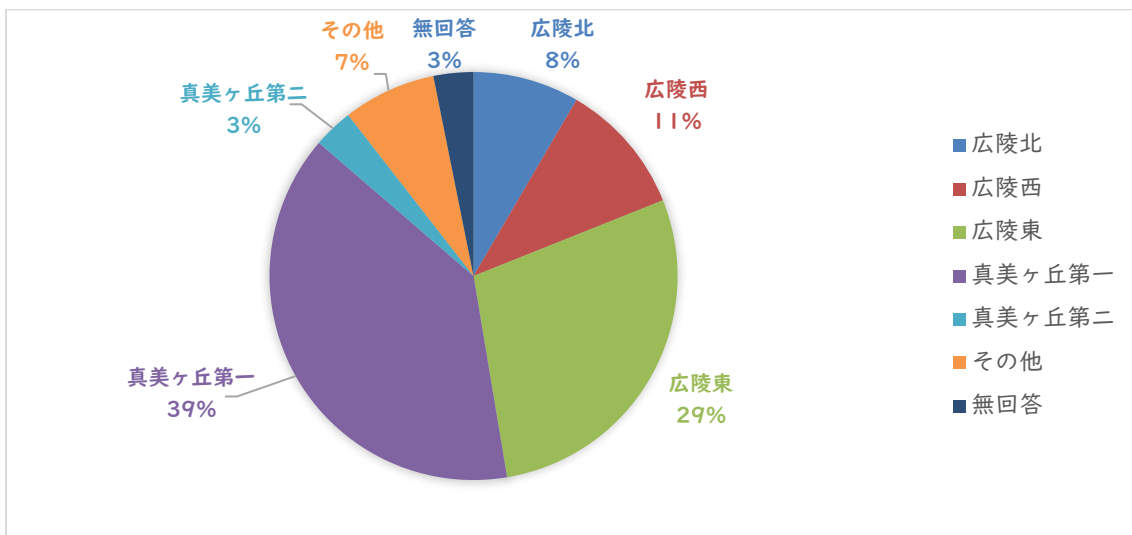
○小学生・中学生のアンケート回答者学年割合（全85人）



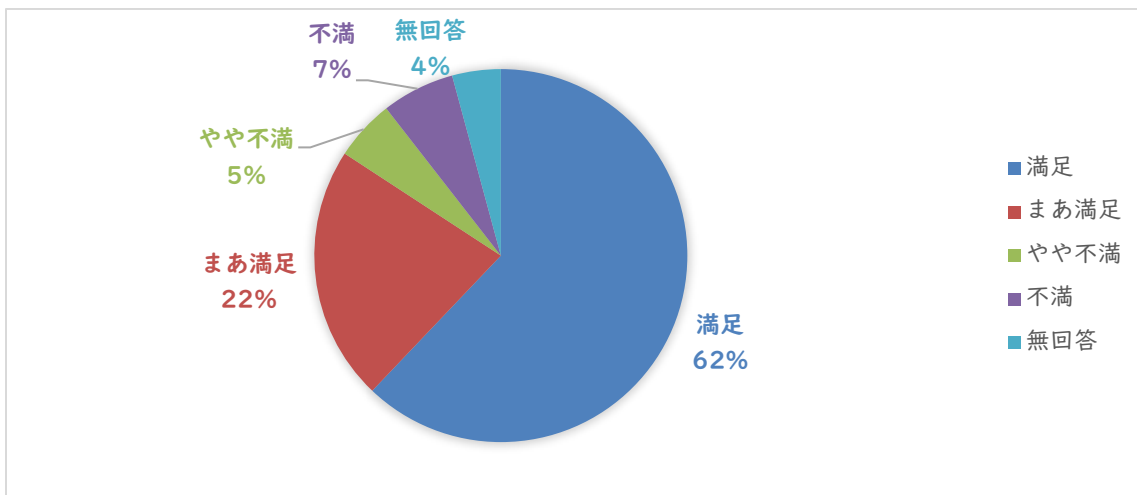
設問(1)-②：あなたのことを教えてください。（性別分布）



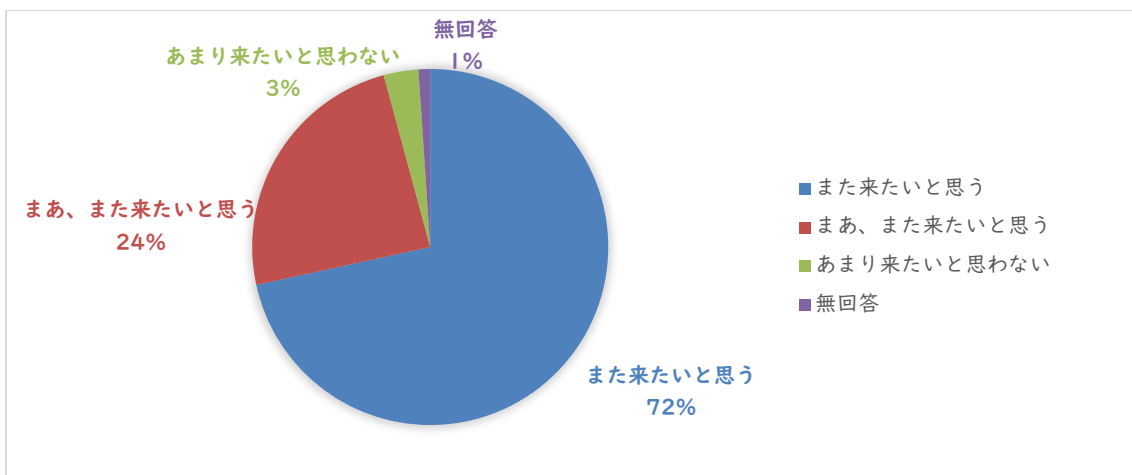
設問(2)：どの小学校区から来ましたか？



設問(3)：こどもの居場所の満足度を教えてください。



設問(4)：この居場所（施設）について、また来たいかどうか教えてください。



設問(5)：今後、こどもの居場所をどのようにしたらもっと行きたくなりますか？（自由記述要約）※提案があったもののみ記載

- ・おもちゃを増やしてほしい。
- ・部屋を広くしてほしい。
- ・なにかしらの楽しい仕掛けや音楽を流したりする。
- ・ひとりの子がいたら職員が来て、一緒に遊ぶ、勉強する、本を読むなど、来たいと思えるようにする。
- ・みんなでできるゲームをもう少し増やしたりする。
- ・楽しめるものを何か用意する。
- ・テレビを置く。
- ・靴箱を作る。
- ・いすを柔らかいのにしてほしい。
- ・遊ぶものを増やしてほしい。
- ・飲食を可能にしてほしい。
- ・時計を置いてほしい。
- ・もっと本がほしい。
- ・ゴミ箱がほしい。
- ・明るい場所であってほしい。
- ・静かな場所であってほしい。
- ・入りやすい雰囲気がほしい。

3. 考察とまとめ

アンケート回答者の約7割が小学生であり、特に小学4年生から6年生までの利用が多く、全体の49%を占めている結果となりました。また中学1年生が11%であったため、小学4年生から中学1年生が多く利用していることがうかがえます。

また、利用者の小学校区については、「こどもの居場所」が設置されていない広陵北小学校区と真美ヶ丘第二小学校区の割合が低く、自宅からの距離が利用のしやすさに影響していると考えられます。

「満足度」や「また来たいかどうか」の設問に対し、「満足」や「また来たい」の回答率が高い傾向にありましたが、「どのようにしたらもっと行きやすくなるか」の設問に対し、「明るい場所であってほしい」、「入りやすい雰囲気であってほしい」といった意見もあり、「こどもの居場所」を利用しやすい環境を整える必要性も考えられます。ほかにも、「遊ぶものを増やしてほしい」、「いすを柔らかくしてほしい」など、「こどもの居場所」内の環境の充実を求める意見がありました。